

第8回 総合計画審議会 会議録要旨

1 会議名

第8回 総合計画審議会

2 開催日・出席者等

開催日時 令和2年10月9日（金） 午後3時00分から午後4時35分

場所 須坂市役所庁舎3階 305会議室

3 出席者

(1) 委員

遠藤 守信 委員、高野 健光 委員、遠藤 守 委員、寺田 克 委員、
西原 秀次 委員、永井 康彦 委員、山上 久子 委員、春原 博 委員、
神林 利彦 委員、高橋 洋子 委員、永田 繁江 委員、本藤 浩史 委員、
竹前 美枝子 委員、川口 千春 委員

（欠席）

土本 俊和 委員、二タ村 朝比古 委員、

(2) 幹事

副市長、総務部長、健康福祉部長、市民環境部長、社会共創部長、産業振興部長、
まちづくり推進部長、水道局長、消防長、教育次長、議会事務局長

（欠席）会計管理者

(3) 事務局等

特定非営利活動法人SCOP、政策推進課長、政策秘書係長、政策推進課職員

4 配布資料

- ・第六次須坂市総合計画・前期基本計画（原案）冊子…【資料1】
- ・意見公募（パブリックコメント）実施結果報告…【資料2】
- ・基本構想・基本計画原案（冊子）への追加イメージ…【資料3】

5 内容

(1) 開会

政策秘書係長

定刻になりましたので、ただ今から第8回総合計画審議会を開会させていただきます。
事務連絡になりますが、土本委員、二タ村委員から欠席の連絡をいただいていますことと、策定支援業務を委託しているSCOP様にも同席いただいていますので報告申し上げます。

続きまして、遠藤会長ご挨拶をお願いします。

(2) 会長あいさつ

遠藤会長

コロナ禍収束の兆しが見えていないが、須坂市の平穏な生活に感謝。ご多忙の中での審議会参集に感謝。皆様の絶大なる支援でだいぶ案が整ってきた。今、7合目を通過したような状況だが、今後の将来の希望とよりよいまちづくりのため、もうひと踏ん張りよろしくをお願いしたい。本日も積極的なご意見を期待する。

政策秘書係長

続きまして次第3の会議事項に入ります。

会議事項については遠藤守信会長に進行をお願いしたいと存じます。遠藤会長宜しくお願いします。

(3) 意見公募（パブリックコメント）への対応について

遠藤会長

事務局より概要説明を。

副市長

本日は委員の皆様のお忙しい中でのご出席に感謝申し上げます。事務局説明の前に、経過等も含め、一言申し上げさせていただきます。これまで2回の書面会議を含め、7回の総合計画審議会を開催させていただき、委員の皆様から多数の貴重なご意見を頂戴いたしました。10年間の構想である基本構想、5年間の計画である前期基本計画の策定を同時に進めていただき、内容のほうもだいぶ充実してきました。今後、審議会の答申をいただき、原案を議会に提出していくことになりますが、それに先立ち、10月7日に議会側にて設置する特別委員会にて、進捗状況の報告を兼ねまして、現時点の原案について説明をさせていただきましたことをご報告申し上げます。

本日は9月に実施いたしました意見公募（パブリックコメント）の内容について、ご審議をいただきます。提出のあった意見については、本日の検討結果を踏まえ、審議会としての回答をホームページ等で公表していく予定です。

最終的には11月初旬頃に答申をいただき、11月中旬には議会への議案提出というスケジュールになります。計画策定も大詰めを迎えていますが、ぜひとも多数のご意見をお出しただけですと幸いです。

それでは、これ以降、事務局より資料に基づき説明を申し上げます。

政策推進課長

－【資料2】（1ページ～4ページ、項目1～項目19まで）について概要説明－

遠藤会長

ただ今の事務局説明について、ご意見等はあるか。

委員

No. 16に鍵括弧の脱字が見られる。修正されたい。No. 11でソフト面での充実が求められているが、この回答案だと「取り組まない」というような意思表示に受け取られる。No. 18にも記載されているように、講座などを通じた説明会を保護者対象に実施するなど、積極的な回答のほうが良いと思う。

遠藤会長

回答は就学援助での対応をとっているが、この部分にソフト・ハード両面からの対応

を書き加えることはできないか。

教育次長

回答内容は経済的に厳しい家庭への支援という面から記載したもの。ハード面では全児童・生徒にパソコン（タブレット）を支給することを予定しているが、ソフト的な部分では就学援助制度で支援する。例えば家庭での通信費などが想定され、その一部を就学援助制度で整えていくことも検討中。No. 16に鍵括弧の脱字は修正させていただく。No. 18に関連するが、インターネットの普及はマイナス面のみが捉えられがちであったが、GIGAスクール構想の中で、マイナスな部分にも加え、プラス（メリット）の部分もしっかり教えていかなければいけない。保護者の知識向上という部分は各種セミナーを通じて別途フォローしていきたいと考えている。

委員

No. 12について、自宅にパソコンがない家庭も多く、不安を感じている保護者も多い。今回の回答案だと突き放された印象が否めない。難しいかもしれないが、学校にはパソコンがあるので、保護者にパソコン操作等を知ってもらうような機会があっても良く、そのようなことを回答に盛り込めたらよいと思うがどうか。

社会共創部長

各地域公民館でパソコン教室を開催している。ワードやエクセルはもちろん、最近人気の講座としてSNSの使い方講座なども開催。保護者の方にとっては昼間の時間帯での講座に参加することは難しい部分もあると思うので、開催時間帯も含め今後検討をさせていただきたい。

教育次長

学校としては保護者が一緒に学ぶという機会提供は難しい部分はあるが、ご意見の意図はよく理解できるため、社会共創部長からの回答にもあったように地域公民館等を活用した講座等について回答内で触れたいと思う。

遠藤会長

ただ今、回答があったように、情報リテラシー教育の機会提供などについて、既に実施している内容にも触れていただきながら回答に盛り込むことで保護者の安心にもつながるのではないかと。ご検討願いたい。

委員

No. 12の補足になるが、情報センターで開催しているプログラミング教室は親子での参加が可能で、教育委員会からも後援をいただいている事業である。生涯学習をはじめ、地域の学びの場にICT教育を上手く組み入れることは既に行われていることで、今後も期待される場所である。

遠藤会長

今現在も実施している優れた取組みも含めて、回答案の修正を検討されたい。
質問は一旦ここまでとし、No. 20以降の内容について、事務局から説明を。

政策推進課長

－【資料２】（５ページ以降、項目20～項目31まで）について概要説明－

遠藤会長

ただ今の説明についてご意見どうか。

委員

パブリックコメントへの回答は市の姿勢を示す意味もあるので、No. 20の回答案のような言い回しだと、「指摘があったので対応します」というような印象にとられかねない。もう少し指摘内容に対しての共感の姿勢と対応の背景をしっかりと盛り込んではどうか。No. 30について、意見欄の「RPA」の表記が半角と全角が混在しているので統一されたい。「ICT」についても、意見欄と回答欄で混在が見られるので、読み手に読みやすいよう表示を統一したほうが良い。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）だけ括弧書きで補足があるが、その他の略語についても補足を行うのか、統一を検討されたい。No. 26について、「IOT」という表記の「O」は小文字で表記し、「IoT」が正式なので修正されたい。また、No. 26の回答で触れられているDXについて、広義は「デジタル化を進めることで人間生活を全般的に良いものにしていく取組み」であるが、日本では経済産業省が進めているので事業者向けのメッセージに捉えられがち。今回の回答内容だと「DX＝事業のデジタル化」というメッセージに見えてしまうため、例えば「事業者がネット販売の強化などをはじめとするDXと呼ばれるデジタル化推進を進めることについて…」などの表現のほうが正しく伝わるのではないかと思う。他市の情報化計画策定の業務に携わらせてもらっているが、計画の名称が「…市情報化計画DX」という名称で作成されている。企業だけでなく自治体もDXは共通の重要キーワードであることもご認識をいただきたい。

遠藤会長

DXは最近話題になっている単語でもあり、市民にご理解いただくという趣旨も踏まえ、回答案の記載内容についてぜひ精度を高めていただきたい。

委員

No. 27（企業誘致）について、台風19号以来、市内への進出を希望する企業からの相談を何件か受けている。その中で、No. 27の回答を見ると「検討していく」、「データ提供をしていく」などと表現されており、誘致の取組みをするかしないかという視点からすると、たぶんやらないのではないかという印象に捉えられてしまう。回答するのであれば、「データ提供などを行いながら企業誘致の推進に取り組んでいきます」などと表現したほうが良いのではないか。調査を行うことと誘致活動を行うことは別であり、本来の質問の趣旨とかけ離れた回答になっている印象が否めない。積極的に取り組む姿勢を回答に盛り込んだほうがよいと思う。

遠藤会長

指摘の通り、意見の後半に対する回答が示されていない印象がある。

委員

同じ項目になるが、須坂市は工業用地が無い。そもそも誘致する環境にあるのか。確かに既存の日滝原産業団地は環境がとても良い。ただその隣には誘致できない。現実を踏まえて、もう少し書きぶりを工夫したほうが良いのではないか。現状の回答案だと地盤も水も恵まれているが、現実的に誘致する土地はないという印象を与える。もう少し踏み込んだ積極的な表現がほしい。また、全体に関することだが、教育分野では各家庭におけるインターネット環境の充実などソフト面が重要になる。高齢者の方もインターネット環境の充実が大切だが、特に70歳以上の方など孫が家から出てしまったような高齢者のご家庭はWi-Fi環境がない家も多い。ともすればスマートフォンも使用していない方も多くいる。デジタル化を重要な分野と捉えていくのであれば、ある程度の環境整

備も一つの重要視点になる。

遠藤会長

今ご指摘のあった、情報弱者への配慮や対応という点につき、計画の中に盛り込むことはできないか。工業用地の関係については、新規造成しないと用地自体の確保は難しいという認識でよいか。そうとしても、意見への回答としては積極的な誘致を推進する書きぶりに修正していくということが望ましいが、事務局としていかがか。

産業振興部長

地盤が強いといった点を活かして企業誘致をしていくという視点は回答に盛り込んでいく。郊外での企業用地は規制の関係があり難しい現状にある。既存の工業用地の空き地への誘致は積極的に進めている。様々な方法を研究・駆使して誘致を推進していくという視点は具体的に施策の中にも含めて記載しているため、そちらで代えさせていたできたいと考えている。

委員

No. 29について、経営継続や創業希望者への支援についての指摘は大変重要と考えている。実際の対策としては基本計画における施策（施策32「商業の活性化」）に示したとのことだが、もう少し具体的な内容を盛り込んでいただきたい。関係機関との情報共有や連携という文言について、聞いたところの印象は良いが、結局何も取組みがなされず終わってしまうパターンが多い。須坂市がこの事業承継という問題に対してどう考え、どう取り組むのかという視点での具体的な記載がほしい。コロナ禍の中にあつては、新規開設店舗よりも廃業店舗のほうが多くなるだろうと推測される。創業支援も大切だが、廃業せずに継続していく取組みを支援することも大切。事業承継に対する対策をもう少し盛り込んでいただくとよい。

産業振興部長

ご指摘の点について検討させていただき、原案について可能な対応をさせていただく。

委員

農業分野における耕作放棄地の問題、有害鳥獣の問題についてNo. 7の意見で指摘されているが、非常に大切な問題である。耕作放棄地を単に結果として問題視するのではなく、それが生じる背景について目を向ける必要がある。耕作放棄地は農業従事者の高齢化や担い手不足、不在地主の問題が原因となっている。景観を害することにもつながるため、背景をきちんと捉え、行政、特に農業委員会や農業関連団体が一体になって進めていく必要がある。言葉だけで終わらないようにしたい。有害鳥獣は農業への影響が大きく、農家にとっては死活問題。施策28の主な取組内容で「自己防衛型の鳥獣対策への切り替えによる猟友会に依存した鳥獣対策からの脱却」と記載されているが、猟友会とは縁を切るような表現にとられかねない。猟友会の存在意義は大きく、猟友会の後継者育成に努めるなどの表現のほうが適切であり、農家の安心にもつながるのではないかと思う。また、施策28の主な取組内容の中に出てくる「沼目越瓜」は読み方が難しいため、表現を工夫されたい。

産業振興部長

遊休農地に関してはご指摘の課題のとおりで、農業委員会とも連携し進めている。山間地などの面的な整備が進められており、相談もあることから、このような取組みを地道に行っていきたい。有害鳥獣の対策の件に関して、猟友会の認識については委員ご指

摘のとおりであるため、記載内容をご指摘の内容のとおり修正をしたいと考えている。

遠藤会長

沼目越瓜はよみ仮名「しろうり」を添えて分かりやすく表現いただくということをお願いしたい。全体の議論を通しての提案になるが、施策36「ICT等による利便性の向上と業務効率化の促進」の「(2)市民とともに歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり」の中にデジタル化という文言は入れられないか。国が今まさに重要課題として取り組もうとしている内容について、せっかくこの時期に計画策定をしているのだから、須坂市も先取りして計画に盛り込み、意思表示を明確にし、対応を進めていくということできかがか。これについては事務局一任とする。

本日は時間も限られていることから、他にご意見があれば事務局へ任意の方法でお知らせいただくということをお願いしたい。期限は来週末までとしたい。

(4) 基本構想・基本計画原案の検討について

遠藤会長

事務局より概要説明を。

政策推進課長

—【資料1】に基づき、以下、原案の主な変更点について説明—

- ・資料1 P17「基本目標」において最終成果指標を定めないこと
- ・市民総合意識調査により基本目標の「目指す姿」について市民の実感を聞く方法により、基本目標ごとの指標設定に代えたいこと

委員

総合計画自体は策定が義務付けられていないが、基本目標にKPIを設定しないことにリスクはあるのか、また他団体でそのような事例があるのかどうか、また、他団体の調査もされた上での結論かをお聞きしておきたい。

策定業務委託支援業者（SCOP）栗田

指標は基本目標レベルでも設定をするということで進めてきたが、なかなか基本目標相互のレベルを合わせた指標設定が難しいことは事務局からも説明があったとおり。他市の例では、松本市が基本目標よりも上のレベル（計画全体レベル）で「住みよいまちだと思える市民の割合」などとして設定している。塩尻市は計画体系が須坂市とは異なるが、重点戦略的な単位で最終成果指標を設けている。基本目標の単位で指標設定をしていない自治体も多くある。リスクという点でいけば特段ないと考えられる。指標は設けないが、市民総合意識調査等で把握をしていくという方針であるため、特段問題はないと考えている。

委員

基本目標単位で目標を設定したほうが良いということではないが、前回計画で設定していたとして今回計画で設定しないとなれば、市民にとってどういう変化があるのかということを明確に説明できないというデメリットが生じるのではないかと思う。やり方次第だが、基本目標全てに設定しなければいけないわけではない。本日の資料17ページで見え消しされた指標の中には指標として存在していても良いと思えるものもあるのではないかと感じている。指標はあくまで目標であって必ず達成できなくても良い。見通しとして、ありたい姿やありたい数値を載せておく分には良いのではないかと思う。

副市長

基本目標については指標を無くすということではなく、先程の説明のとおり、市民総合意識調査で把握していくことを考えている。それぞれの基本目標に掲げる方針を判断材料に評価してもらうことを考えている。評価を行わないということではない点についてご理解をいただきたい。基本目標全体の指標を設けることでも良いが、そのような指標を設定することは難しいものと考えている。基本目標は複数の施策で成り立っているが、施策ごとでは成果指標やプロセス指標をきちんと定め、進行管理をしていく。そのようなことでご理解いただきたい。

政策推進課長

ご指摘のあった「見え消しされた指標の中には指標として存在していても良いと思えるものもある」とのご指摘について、各施策に追加で設けて生かしたものもあることについてご報告させていただく。

遠藤会長

指標として掲げているものが「目指すまちの姿」の実現にとってどのような意味を持つかという点が重要。漠然と数値を挙げてみても数字が独り歩きするだけになるのではという懸念もある。むしろ、初回の調査できちんと実態を把握し、さらにそれを上積みしていこうとする取組みにこそ意義がある。指標設定に悩むよりは、市民意識調査の実施というマイルストーンをしっかりと定め、上積みされた改善効果を数値で把握しながら政策の効果を検証していくことのほうが意味あるのではないか。18ページの表の下部にそのあたりの背景をもう少し書き加えていただくということによろしいのではないか。続けて、事務局説明を。

政策推進課長

—【資料1】に基づき、以下について説明—

- ・【資料1】P29、P31（総合戦略部分）の追記、削除について
- ・【資料1】P6への製造業グラフの追加、説明追加について

遠藤会長

説明いただいた修正案のとおりで問題ないと思うが、いかがか。

—意見なし—

遠藤会長

本日は時間の関係もあり、以上とさせていただきます。

繰り返しになるが、他にご意見があれば個々に事務局へお知らせいただくことをお願いしたい。次の事項について事務局説明を。

(5) 今後のスケジュールについて

政策秘書係長

—次第に記載の「今後のスケジュール」について説明—

遠藤会長

全体を通してご意見があれば。

委員

SDGsのアイコンを配置したことは大変良い。巻末などに一覧で担当課と施策の整理表を確認できるようにしたら良い。

遠藤会長

他に意見はないようなので、以上をもって会議事項は終了とする。進行を事務局に戻します。

副市長

非常に多くの意見をいただき感謝。本日お出しいただいた意見を踏まえ、パブリックコメント回答や原案への反映を行ってまいりたい。他にもありましたらぜひお寄せいただきたい。本日はありがとうございました。

6 閉会

政策秘書係長

本日の会議はこれにて閉会とさせていただきます。長時間にわたりありがとうございました。